

住民自治協議会だより



目次	P1; 事業報告 (安全・防災)	P2; 事業報告 (総務、安全・防災)
	P3; 事業報告 (健康・福祉、環境)	P4; 事業報告 (環境)・各区紹介 (狐池)

平成 23 年 12 月 1 日発行 発行者 第一地区住民自治協議会 会長 竹本次雄

◆ 自分の大切な人を守るために ◆

震度5の地震を想定して、長野市内でも初めて大がかりな防災・避難訓練が11月6日(城山公園)、13日(加茂小学校)に大勢の住民が参加して行われました。

東日本の大震災では多くの尊い人命を失い、いつ起こるか想定できない災害を目のあたりにして、今回の避難訓練の体験を生かして、自分の大切な家族、隣人の生命と安全、安心を守るために各人が何ができるかを考え、日頃から地域一丸となって取組む大切さを学びました。



11月6日(日)城山公園・城山公民館広場(363人)と13日(日)加茂小学校(457人)の両日2回で延べ820人が参加しました。



訓練は自宅から一時避難場所、そして最終避難場所へと避難経路(道路状況)や所要時間の確認、また、最終避難所では西長野野署の消防隊員による AED 操作方法・水消火器による初期消火訓練・テントに煙を充満させ煙から逃げる訓練をしました。

特に普段した事のない AED 救命訓練では、操作方法などを真剣に聞いていました。また、竹本住自協会長からは、第一に家族の生命を守ること、第二に隣近所への声かけ合いが大事であること、第三に今日の防災訓練を生かし各自が自助努力に取組んで欲しいことが語られました。



◇先進地（金沢市）の防災組織・福祉関連施設を視察

9月8日（水）～9日（木）両日の金沢市研修に27名が参加し「地域を守る防災対策」と「身体機能に合った福祉用具」の研修をしました。



＜地域を守る新たな防災＞

自分たちの地域を守る防災として、住民共助の精神に基づく自主的活動を行っている。具体的には、地震・風水害や火災など大規模な災害による被害の防止や軽減を図るため地域コミュニティの醸成充実と防災力の向上を目指し「まちなか訓練」として平成9年3月から実施している。今では全住民に定着し、地域発展の生涯教育の一環であるとの認識が醸成されつつあるとのことでした。

＜身体機能にあった福祉用具＞

ここでは、住宅改修モデルから始まり歩行・入浴用品・衣類・靴・ベッド・トイレ・食事・調度用品の福祉用具が多数展示され、自由に見て触れて体験（試用）できるのが魅力的でした。社会全体の取り組みでもあり、我が長野市にもこのようなサービスのできる一元的な窓口の必要性を痛感しました。



◇社会を明るくする運動を開催

10月28日（金）信州大学教育学部教授の松岡英子先生を招き、第一地区公民館（参加者47名）で開催されました。先生は「男女共同参画社会の実現に向けて」と題し男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮できる社会である。これを実現するため「男女共同参画社会基本法」が制定されているが、男は仕事・女は家庭というような昔からの考え方ではなく、参加から参画する大切さを強調されました。外国と比べ男女共同参画が遅れているが、これを外国並みに引き上げるには、男女共同参画に対する認知度を向上させる社会的施策が必要であると話されました。



◇交通事故 “0” への活動を展開

- ①交通安全フェア2011に参加・協力
9月23日（金）午後 赤沼のマツヤショッピングモール駐車場
- ②秋の全国交通安全運動
9月26日（月）早朝 若松町交差点で22名が参加
22名が事故防止・啓発活動に参加
- ③光って安心ピカピカナイト交通安全作戦
10月21日（金）夕方 市役所駅前交差点
約50名が事故防止の呼びかけを実施



◇長野市社会福祉大会で第一地区が表彰されました！

9月11日（日）長野市ふれあい福祉センターで開催された第57回長野市社会福祉大会において、「優良地区社会福祉協議会及び平成22年4月以降においてその活動を引き続き継続している地区住民自治協議会」として表彰されました。



◇戸隠でノルディックウォーキング



9月6日（火）約40名が参加し、戸隠森林公園を散策するノルディックウォーキングを開催。市保健所の宮下先生からポールを使った歩き方の手ほどきを受けた後、みどりが池～鏡池のブナ林遊歩道・往復約4kmを約2時間かけて歩きました。雨上がりの清々しい戸隠高原の自然を満喫し、爽やかなひとときを過ごすことができました。

◇ひとり暮らしふれあいの集いを開催

10月12日（水）第一地区公民館（64名）・13日（木）往生地公民館（55名）で、城山在宅支援センター所長の小林さち子さんを招き開催。小林所長さんは「日本は世界一の長寿国」と題して講演、日本の平均寿命は82.7歳（世界は67.6歳）であり、生き生きと健康で長生きするには、①食事は腹8分目でバランス良く、②足腰を鍛えるための適度な運動、③禁煙・節酒・定期的健康診断の実施、④睡眠時間は7時間、⑤人と話をする（脳の活性化→認知症の防止）、⑥おしゃれをすること、⑦好奇心・向上心によるチャレンジ（いつまでも前向きに）と話されました。

引き続き、市の土屋保健師さんの指導により、舌の動きを良くし誤嚥を防止する舌体操を行い、お昼には福祉委員が調理した美味しい「けんちゃん汁」とお弁当をいただきました。最後に童謡「もみじ」などを全員で合唱し、爽やかな秋晴れの中、楽しいひとときを過ごしました。



環境部会

◇ごみ分別強調月間 集積所の巡回指導が行われました

10月3日（月）、第一地区内の2箇所のごみ集積所で、鷺澤市長をはじめ市の職員によるごみの分別指導が行われました。分別指導のポイントとして、「可燃ごみに水切りされていない生ごみが入っていないか」「可燃ごみに資源物（特に紙類）が混入していないか」の2点について確認をしました。



結果として可燃ごみ45袋中、水切りされていない生ごみが入っていたものが11袋、資源ごみ（紙類）が混入していたもの24袋、資源ごみ（リサイクルできるプラスチック製容器包装）が混入していたもの22袋と適正に分別されずに出されているごみが半数もありました。循環型社会の構築を目指し住みよい長野市にするためにも、一人ひとりがルールを守ることが大切です。

◇3地区合同環境施設研修会に参加

10月7日（金）第一・第四・第五地区の環境関係役員を対象とした3地区合同の施設研修会を開催、日本環境経営大賞の第6回環境経営部門環境経営優秀賞を受賞している「共同組合長野県中古自動車リサイクルセンター」（東御市）を視察しました。使用済自動車の回収・解体・資源再利用化を行い、健全な社会の実現と安全な生活環境の確保を目指し地域社会に貢献することを目的に、環境・公害等に配慮した施設で使用済自動車を適正に処理している取組みに感銘を受けました。参加者からは「家庭ごみの適正分別など個人としても責任を持たなければいけない」など感想が述べられ、環境に対するモラルを再認識する研修となりました。



使用済自動車の回収・解体・資源再利用化を行い、健全な社会の実現と安全な生活環境の確保を目指し地域社会に貢献することを目的に、環境・公害等に配慮した施設で使用済自動車を適正に処理している取組みに感銘を受けました。参加者からは「家庭ごみの適正分別など個人としても責任を持たなければいけない」など感想が述べられ、環境に対するモラルを再認識する研修となりました。

◇秋の河川清掃（湯福川）の実施

毎年恒例の湯福川の河川清掃を10月17日（月）午前9時より、紅葉の深まっていく中天气に恵まれ、環境部会を中心に総勢38名（うち女性4名）が参加し、川の中の草刈りとごみ拾いを行いました。刈り取った大量の雑草とポイ捨てのごみ等で大変な作業でしたが、約1時間半で作業が終了、きれいになったことを実感しました。



連載企画

狐池

事務局職員が行く 各区レポート!

＜「狐池」を紹介します（坂口区長）＞



狐池は90世帯、204人の事業所の無い閑静なまちです。町内には稲荷社・諏訪社と2つの神社をお守りし、稲荷社は戦前・戦後には商売の神様として市内の間屋街、花柳界から数多くの参拝者が訪れました。稲荷社「獅子殿稲荷社」の境内には大きな枝垂桜があり春には空から降ってくるような花が咲き、毎年町の有志で観桜会をしています。

町の防災対策として、町内の空き家を借り受け一時避難場所としました。町の裏の崖は土砂災害の危険地帯として認識し、災害発生時の被害を最小限にしたいと防災意識を高めているところです。



◆第一地区住民自治協議会事務局：宮崎、岡村（第一から第五地区合同事務所内）◆

〒380-0835 長野市大字南長野新田町 1485-1 もんぜんぱら座 8階

電話：262-1217（FAX兼）E-mail：dai1@clock.ocn.ne.jp

編集委員：柄沢申一、古畑幸雄、高森平二、松山嘉道、市民活動支援課：倉島